

第3学年社会科学学習指導案

社会科学教育専修初等教育履修分野3回生

197604 加藤真由

1. 単元名 「みんなが暮らしやすい町ってどんな町だろう」～安全な町づくりをめざして～

2. 単元の目標

・警察署が地域の安全を守るために消防署などの関係する機関や地域の人々と協力していることを見学・調査したり地図などの資料で調べたりしてまとめ、理解する。 【知識・技能】

・施設・設備などの配置、緊急時の備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現する。 【思考力・判断力・表現力】

・安全を守る働きについて意欲的に学習に取り組み、自らの生活を見直して学習したことを実生活で活かそうとする。 【学びに向かう力・人間性】

3. 指導について

(教材観)

本単元では消防署と警察署について詳しく学習を進めていくが、この9時間では警察署について詳しく学習することとする。第三学年では学習指導要領において主として「現代社会の仕組みや働きと人々の生活」に区分されるものであり、地域の安全を守る働きについての学習で身につける事項を示している。内容(3)-アでは「消防署や警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることを理解すること」と位置付けられている。そのため、本学学習では警察署の役割を中心として取り上げていく。

昨今、犯罪や災害、コロナウイルスの流行などを通してあらゆる面での「安全」への意識が重要視されている。児童にとって身近な事故である交通事故の発生件数は大東市では令和2年では303件、令和元年では355件であった。以前をさかのぼってみても、年々減少傾向にあることがわかる。これには警察署や市民さまざまな人が関わったの結果であると思う。交通事故や犯罪を減らし、安全で暮らしやすい町をつくるためには、今朝津署の働きを理解し、自分たちができることを考えさせることが重要である。

(児童観) 省略

(指導観)

本単元は、警察署の役割と地域の人々との連携を実際にインタビューすることで自分事として捉え、日ごろからの安全意識、社会参画意識へとつなげることを目的としている。単元のゴールとしてインタビューの内容と児童自身が考えた暮らしやすい町をつくるために自分にできることをまとめた新聞の作成を設定する。今まで学習してきた中で普段は意識していないが、警察などの機関や地域の人々が協力して安全や暮らしやすい町を形成しているということに気づかせたい。また、自分自身にもできることはないか考えさせるきっかけとしたい。

第1時では暮らしやすい町にはどのようなものがあるのか、また、事故や事件の数から児童たちの住む大東市について考えていく。

第2時から第4時では警察官の仕事と役割に着目し、110番の仕組みや警察官が児童の生活とどのように関わっているかについて気づかせたい。

第5時から第6時では安全を守るためにある設備の種類や目的から、どんな場所に設備があるのかに気づ

かせ、使用方法などを確認するうえで安全を守るためのルールにはどのようなものがあるのかについて考えていく。

第7時では、警察署の他にも地域の人に関わっていることに気づき、自らの学校生活にも深く関わっていることを実感させたい。見守り隊や子ども110番の家などの活動を行っている地域の人に協力していただき、インタビューを行う。実際に仕事や活動している人の思いを感じてほしい。また、児童にもできることを考えるきっかけとしてこの活動を取り入れたい。

第8時では、学校ではどのような取り組みが行われているのかについて知ることで自分たちにもできることを見直すきっかけとしたい。

第9時では、学習のまとめとしてインタビューの結果から安全にかかわる人の思いや、自分にできることを考え、まとめて新聞を作成する。ここでは、街づくりに自分も参画していることを実感させたい。また、掲示することで、他の友達とも意見の交流のきっかけとしたい、

4. ESD との関連

- ・本学習で働かせる ESD の視点（見方・考え方）

連携性

安全で暮らしやすい町をつくるためには消防署や警察署、地域の人など様々な人がお互いに協力、連携していることに気付くことができる。

責任性

安全で暮らしやすい町づくりには自分自身も関わっていく必要がある。

- ・本学習で身につけたい ESD の資質・能力

長期的思考力

事故や事件のグラフに基づき、傾向や項目からどのようにすれば自分も暮らしやすい町を実現できるか、考えることができる。

進んで参加する態度

町づくりには自分自身も関わっていることに気づき、社会の一員として進んで行動しようとする態度を育成する。

- ・達成されうる SDG s の目標

目標 11（住み続けられる街づくりを） 16（平和と公正をすべての人に）

- ・評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性
①警察署や地域の施設・設備などの配置や安全を守るための法・ルールについて聞き取りや地図などの資料を用いて情報を集めることで関係機関や地域の人々の活動を理解している。	①警察署や地域の施設・設備などの配置や安全を守るための法・ルールに問いを見出し、関係機関や人々の諸活動について考え、表現している。 ②学習したことを基に地域や自分自身を守るためにできることを考え、表現している。	①学習したことを基に地域の安全を守るために自分たちができていることを考えようとしている、

指導と評価の計画（全9時間）

時	○学習活動 ・児童の発言	・学習の支援、指導上の留意点 ○評価の方法【評価規準】
1	(問い) みんなが暮らしやすい町ってどんな町だろう	・暮らしやすい町から出た言葉の中で「安全」などに着目する。

	<p>○暮らしやすい町という言葉からどのような街があてはまるか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全な街、 ・差別がない町、 ・事故や事件がない町 <p>○大東市の事故・事件の数のグラフをみて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年々減少している。 ・事件の数も隣の市と比べると大東市の方が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・「安全」にどのような人が関わっている考える際に前単元の内容である、消防署の内容を振り返ったうえで、警察に着目する。 ・グラフの項目や傾向に着目して考えさせる。
2	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">安全な町づくりのために、だれがどんなことをしているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警察が町を守っている。 ・地域の人たちが見守っている。 ・信号やガードレールをつけてくれている人がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発言の内容から「警察署や地域の施設・設備などの配置や安全を守るための法・ルールに問いを見出しているか」を評価する。【思－①】
3	<p>（問い）110番をするとどうなるのだろう。</p> <p>○110番からどのようにしてつながるか考える。</p> <p>○110番をかけてからどのようになるかを表した実際のビデオを見て関係している機関を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通信指令室から連絡が来る 	<ul style="list-style-type: none"> ・前単元の消防署と同様に通信指令室につながることを考えられるようにする。 ・110番をかけてから、警察官に伝わるまで、様々な機関が関わっていることに気付かせる。 ○ノートへの記述内容から「関係機関や地域の人々の活動を理解しているか」を評価する。【知－①】
4	<p>（問い）警察官は、どのような仕事をしているのだろう。</p> <p>○警察官の仕事は何か考える。</p> <p>○仕事をしている様子のビデオを見る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・警察官の仕事を考える際に、どこで警察官を見たことがあるか、振り返る。 ・仕事をしているビデオから、どんな仕事をしていたかを知る。 ・もっと知りたいことについて考えさせる。 ○ノートへの記述から「関係機関や人々の諸活動について考えているか」を評価する【思－①】
5	<p>（問い）安全を守るための設備やルールは何だろう</p> <p>○交通安全クイズを行う。</p> <p>○クイズに出てきた例がなぜだめなのか考えさせる。</p> <p>○設備の種類を知る。</p> <p>○設備の使い方を知る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全クイズを通して興味関心を持たせる（道路への飛び出し、信号の色の意味などをテーマにしたもの） ・安全を守るための設備の種類とその目的を知る。 ・使い方を通して安全を守るためのルールを理解する

		○ノートへの記述内容から「地域の施設・設備などの配置や安全を守るための法・ルールに問いを見出しているか」を評価する。【思－①】
6	<p>(問い) 安全を守るための設備はどこにあるだろう ○設備の種類を復習する。</p> <p>○安全を守るための設備があった場所を校区内の地図に書きこむ。 ○安全に暮らすための交通ルールについて考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時での学習した設備の種類を確認する ・身近にたくさんの設備があることに気付かせる。 ・安全を守るためには、法や決まりがあることに気付かせる。 <p>○班活動での地図の書き込みや発言内容から「警察署や地域の施設・設備などの配置や安全を守るための法・ルールを理解しているか」を評価する【知－①】</p> <p>○発言内容から「学習したことを基に地域や自分自身を守るためにできることを考えているか」を評価する【思－①】</p>
7	<p>(問い) 地域ではどのような取り組みが行われているだろう。 ○みんなを事故や事件から守ってくれている人やものを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守り隊の人 ・旗持ちの人 ・子ども110番の家 <p>(問い) 地域の人ではどのような思いで活動をしているのだろう ○地域の人にお話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の生活を振り返り、安全に関係している人は誰か考えさせる。 <p>○ノートへの記述内容から「人々の諸活動について考えているか」を評価する。【思－①】</p> <p>○話を聞くときの態度から「学習したことを基に地域の安全を守るために自分たちができることを考えようとしているか」を評価する。【学－①】</p>
8	<p>(問い) 学校ではどのような取り組みがされているのだろう ・警備員さんがいる ・不審者訓練がある。</p> <p>(問い) 自分たちにもできることって何だろう ○前回までの学習から、自分たちにできることは何か意見交流をし、考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ではどのような取り組みがされているか考えさせる。 ・法や設備、警察などに任せるだけでは暮らしやすい町はできないことに着目する。 ・自分にできることをこれまでの学習内容から振り返らせる。 <p>○発言内容とノートへの記述内容から「学習したことを基に地域の安全を守るために自分たちができることを考えようとしているか」を評価する。【学－①】</p> <p>○発言内容とノートへの記述内容から「学習したことを基に地域や自分自身を守るためにできることを考えているか」を評価する。【思－②】</p>
9	<p>(問い) 調べたことを新聞にまとめよう</p> <p>○お話で聞いたことをまとめる。</p> <p>○自分にも「暮らしやすい町」をつくるためにできることを考えてまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・聞いた内容と自分にできることは何かをまとめさせる。 ・つくった新聞は学校内で掲示する。 <p>○新聞の内容から「学習したことを基に地域や自分自身を守るためにできることを考え、表現している。」かを評価する・【思－②】</p> <p>○新聞の内容とから「学習したことを基に地域の安全を守るために自分たちができることを考えようとしているか」を評価する。【学－①】</p>